

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月27日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600149
法人名	医療法人 五舎会
事業所名	グループホーム はまなす
所在地	鹿児島県阿久根市脇本9093番地2 (電話) 0996-75-0320
自己評価作成日	令和3年10月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年12月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体の医療機関の敷地内に設置されている利点を活かし、医療面での24時間早期のバックアップ体制が整備されています。利用者様及び御家族の一人ひとりの思いや希望を大切にしながら、安心と尊厳のある生活が送れる様に支援しています。はまなすは地域の高台に位置しており、散策時には、小・中学校の校歌に歌われている笠山や、田園風景、お寺や学校、買い物に行くスーパー、海(阿久根大島)が眺望できます。近くには日本3大急流の一つ 黒の瀬戸もあり、ドライブコースになっています。また文旦保育園との交流会や地域の人達のボランティアの訪問等も利用者がとても楽しみにしている行事でもあります。又、生活の様子を写真に撮り、遠方の家族や友人、知人に送っており、大変喜ばれています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体医療機関と同一敷地内に隣接し、定期的訪問診療や緊急事対応等を含めた24時間の医療連携が行われ、利用者・家族の安心に繋がっている。また、災害対策の協力体制も整っている。
- ・管理者・職員は、言葉の拘束等の不適切なケアの減少を図るため、年2回ケアの実施状況に関するアンケートを実施し、ちゃん付けの呼びかけ廃止やケア実施前の声掛け等の改善に繋げている。
- ・コロナ禍で家族との面会も自粛されている為、利用者の写真を入れたハガキに、本人の一言と職員のコメントを加えて家族に送付している。このハガキはキーパーソン以外の家族にも希望で送付し、関係者や家族全員に利用者を身近に感じてもらえるよう取り組んでいる。
- ・法人では、有給休暇取得状況や職員の体調を毎週確認し、働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の尊厳・安心・自立については、各ユニット内に掲示しており勉強会で再確認しております。家族との絆 地域とのふれあいを大切に支えています。	理念は玄関・リビング・事務室に掲示し、パンフレットにも掲載している。勉強会で理念を確認し、理念に基づいた実践に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染症予防の為、保育園や児童館・ボランティアの方々との交流は出来なかったが、馴染みの地域の友人等の窓越しでの面会により交流ができた。	コロナ禍の為、保育園児との交流やボランティア受け入れは困難な状況であるが、知人等の窓越し面会や住民からの野菜・花の差し入れでの交流は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議報告書で、地域の方と認知症の人の支援の方法を理解して頂く機会を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染症予防の為、運営推進会議を開催することが出来ず、往来通り(2ヶ月毎)に現状報告・アクシデント報告書を地域の方、行政担当者・ご家族へ送付し意見等を貰い、ケアに活かせるようにしている。	運営推進会議は書面開催となり、2ヶ月に1回、事業所の状況等の資料を、行政及び地域代表へは持参して意見交換を行い、家族には郵送している。コロナの感染予防対策等への意見を、事業所の取り組みに活かすよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>行政担当者に連絡をし、報告や相談等しながら意見を頂いている。又、生活保護担当者も定期的に窓越し面会して下さり利用者の実情をお伝えしている。</p>	<p>市の担当者とは、窓口に出向いて資料や事故報告を提出したり、運営推進会議の開催や面会制限等についての相談を行う等、連携を密に図って運営に当たっている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人の身体拘束廃止委員会に毎月参加しており勉強会でもスタッフ把握している。身体拘束廃止委員会を設定し2ヶ月毎に開催し、不適切なケアについては、繰り返し全職員で取り組んでいる。</p>	<p>指針が有り、委員会を2ヶ月毎に、研修は職員会議時に実施しており、法人の委員会にも毎月参加している。不適切なケアは職員へのアンケートで取り組んでいる。玄関の施錠はせず、外出希望の場合は懇談したり、敷地内を散歩する等、行動を制限しないケアに努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内の虐待防止委員会に参加し、勉強会で不適切なケアの振り返りをし、尊厳に配慮したケアを再確認している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護・成年後見制度について、勉強会でも学習する機会を設けており知識を習得している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居申し込み時や入居決定時、重要事項の説明や運営規定の説明を行い理解・納得して頂いた上で契約している。改正時には、その都度説明し同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族アンケートを実施し、意見・要望が反映できるようにしている。家族の要望等は、面会時や会議等に伺った事を全スタッフへ周知し、情報共有している。	本人には、日常会話の中で要望を聞いている。家族は、年1回のアンケート実施や電話及び来訪時に近況報告を行って要望も聞いている。対面での面会の要望は、法人全体の方針であることを伝え、了解を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	連絡ノートを活用、個々の意見が出るようにしている。勉強会でも意見交換、事務長や営繕担当の係の人に業務改善の相談を行っている。	連絡ノートを活用して提案等を行い、月1回の職員会議時に提案の実行について検討し、反映するよう努めている。有給休暇取得や職員の体調等について、毎週法人担当者からの確認がある。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格手当・介護手当の支給基本給のアップ等 給与水準や職場環境は改善している。スタッフも資格取得に向けて向上心を持って働いている。希望休み・有給取得等配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画を作成し、職員担当を決め資料の準備やアンケート実施で、職員が主体的に取り組んでいる。法人内外の研修は、自主的に受けられるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区グループホーム協会に加盟・研修会や交流の機会を持ち他事業所の取り組み等を知り業務の見直しや改善に役立っている。管理者同士の交流でも情報交換し、ホームの質の向上に繋がっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人・家族に見学して頂き、安心して頂ける配慮をしている。入居が決まった時には事前に情報収集し、本人の生活歴を知り、利用者の認知症状を把握して安心できる環境となるよう寄り添い言葉掛けや配慮をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホームの見学時や利用開始時には家族が困っている事、不安に思っている事や要望等をお伺いし、入居後のケアの方向性を確認しながら信頼関係の構築に努めている。入居後は、日常の様子や体調不良の際の対応等を報告している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申し込み時やすぐに入居できない時など、今必要な支援方法を一緒に考え、他の事業所を紹介等対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩から学ぶという姿勢で共に生活している。出来る事をして貰いながら、達成感や有用感を感じられる場面を作り、信頼し支え合う関係が出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	2ヶ月毎のお便りや、家族の窓越し面会時に利用者の心身の状態をお伝えしており、家族とともに利用者を支える関係性を構築している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人が面会に来て下さり窓越しではあるが、お互いの関係が途切れないよう配慮している。	家族や知人の窓越し面会や馴染みの訪問美容師の来訪、かかりつけ医の継続などを支援し、これまでの関係が途切れないよう取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングでのソファや食卓椅子の座る位置は利用者同士、良好な関係が保てるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院に入院により退所された利用者に面会に行ったり、ホームに届いた郵便物を届けたり、これまでの関係性を大切にしながら、本人・家族の相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの希望や意見を聞き、又、日々の生活の中での会話、表情等から利用者の思いを受け止め、本人の意向に添った暮らしが継続できるようケアに活かし支援している。	利用者が自己決定や自分で話せるような声掛けに努め、日常会話の中で本人の思いを把握するように取り組んでいる。困難な場合は、家族からの情報や職員の日頃の関わりでの意見を参考に、思いを汲み取るように努め支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の暮らしの中や、お茶の時間等で語られた言葉や、家族からの情報をケース記録に記載し、職員間で情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの状態を把握し、行動・言葉をケース記録に記載し、連絡帳、申し送り等で利用者の現状把握に努めている。状態の変化がある場合には計画の見直しを行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、家族からの要望や職員からの情報を元に一人ひとりのニーズに沿った介護計画を策定している。	本人や家族の意見を基に、担当職員・ケアマネージャー・職員で担当者会議を実施し、話し合って介護計画を作成している。モニタリングは毎月実施し、必要時は修正・手直しをしている。見直しは6ヶ月毎及び状況変化等の必要時に行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録・職員間の連絡帳・月1回の勉強会を行っている中で情報を共有しながら、インシデント・アクシデントも報告書に記録し、実践や介護計画の見直しに反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医療機関への受診介助や他科受診時の服薬状況の提供、理美容の利用、洗剤や紙パンツ購入等家族に代わって出来る支援は柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ホーム周辺の散策やはまなす菜園での草取り・収穫等暮らしを楽しめるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設病院より月に1回の訪問診療を受け、2週間に1回状態報告を行っている。また、併設病院受診時には同行して主治医に心身の状態を報告・相談し適切な医療と処方につなげている。他科受診の必要時は処方箋や情報提供をし適切な医療を受けられる配慮をしている。	契約時にかかりつけ医の希望を確認し、全員母体医療機関を希望している。月1回訪問診療、2週に1回看護師から医師に状態報告をしており、緊急時は医師の指示を受けて対応している。他科受診は家族対応を基本としており、職員同行の場合は結果を家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	併設病院の看護職員と24時間バックアップ体制が整い、職場内の看護職員が利用者の状態をタイムリーに伝え必要時は外来受診して医療的処置をして頂きながら異常の早期発見を見極めて状態悪化防止に努めている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	併設病院の主治医や看護師、ソーシャルワーカー、入院先の連携室と利用者の状態や家族の意向も聞き情報交換しながら連携を取り早期に退院出来るように協力体制に繋げている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人や家族に対して終末期の希望などを聞き、医療との連携を取り看取りケアを実施している。看取りケアの指針を作成し家族との連携を取りながら運営推進会議で意見交換・説明を行っている。	契約時に重度化時の対応について指針で説明し、同意書ももらっている。重度化の場合は、医師や事業所で家族の意向を確認し、意向に沿って取り組んでおり、看取り介護の事例がある。状況の変化に応じて医師から特別養護老人ホームや入院の選択肢について説明している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	応急手当や初期対応については、マニュアルを作成し勉強会で研修し急変時や事故発生時には管理者、病棟看護師や近隣の職員が直ぐに対処し主治医に連絡と報告の体制を整えている。また定期的に消防署の救急救命講習を受講する体制を整えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>併設病院の災害防止対策委員会に毎月出席し、避難誘導通報訓練は全職員交代で毎月実施し、利用者を安全に避難誘導出来るように訓練し、病院職員の応援体制も整っている。年に2回、消防署に自衛消防訓練通知書を提出し、1回は消防署立ち合いの訓練を実施・指導を受けている。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、通報と避難誘導の訓練は毎月実施している。コロナ禍の為、消防署の立ち合いは無く、母体医療機関の協力体制が築かれている。災害用の備蓄は法人で一括して確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>毎月の勉強会の中にテーマの1つに揚げ勉強会を通じ問題提議しながら全職員で取り組んでいる。個人情報についても家族の了承のもとに情報の発信には気を付けている。</p>	<p>勉強会を実施し、さん付けで呼びかけ、ケアの実施前の声掛け、排泄、介助時のさり気ない声かけ等、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。申し送り時は小声で話し、プライバシーを確保している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>職員が提案したり決定せずに思いを聞き、願いを受け入れながら日々の生活の中で自己決定して貰っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の希望や要望、今やりたいことに耳を傾け、一人ひとりに寄り添った支援を行っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>季節毎に担当者は衣替えを行い、季節に合った服装が出来るよう支援し又必要な物は家族にお願いし届けて貰っている。訪問美容も定期的に利用し髪をカットして貰っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の一人ひとりの嚥下状態に合わせた食事形態で提供している。又好まない物は、代替品にて栄養のバランス保持に努めている。職員も一緒に食卓を囲み、何気ない会話を楽しみながら食事をしている。	職員が献立を作成し、菜園の旬の食材を調理し、個々に応じた食事形態で提供している。利用者も一緒に片付けをしている。誕生日の特別メニューや季節の行事食、外のベンチでのお茶等、食事を楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの好みの食材や硬さを把握しており、水分量・食事摂取量を記録し、咀嚼・嚥下力に応じた食事形態で提供している。高カロリー食やジュース類・ポカリ等も提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアは確実に一人ひとりの力に応じて歯ブラシで舌苔や口臭の除去、義歯の洗浄等 口腔内の清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表や本人の動き、表情観察、時間誘導でトイレでの排泄を促している。排尿・排便があったら、共に喜び排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、時間誘導や本人の仕草等で声掛け・誘導し、日中は全員トイレでの排泄である。夜間は身体状況等により、ポータブルトイレの使用やパット交換の利用者もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は、繊維質の多い食材や野菜を多く取り入れ、牛乳・ヨーグルト・サツマ芋・リンゴ等を使用しながら調理し、レクには体操を取り入れ、自然排便に繋げている。必要時には、主治医に相談し下剤を調整しながら服用し便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴できる体制を整えてあり、個々に応じた入浴介助を行っている。入浴出来ない時には、清拭や足浴・手浴を行い清潔保持に努めている。	夏は週3回、冬は週2回以上の入浴を行い、体調による清拭・足浴・シャワー浴の実施や汚染時の陰部洗浄で清潔で気持ち良く過ごせるようにしている。嫌がる場合は、時間や言い方を変える等の工夫で入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを整え、その時々状況や其々の過ごし方を尊重している。照明や室温等配慮しながら休息や安眠出来るよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬や臨時薬を確認し薬の変更があった場合は、連絡帳・ケース記録に記載し、情報を共有している。又、処方箋をファイルし、内容を理解している。服薬時は、飲み込みまで見守り症状の変化の確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の持てる力を発揮して貰い有用感が感じられる場面作りをし、レク活動等で楽しい時間を過ごせるよう配慮している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	地域への外出や普段行けないような場所への外出はスタッフの人員体制を強化し、家族の協力を得て外泊や墓参り等に出掛けられるよう支援する体制が整っている。	敷地内の散歩は毎日実施している。コロナ禍の為、外出は制限されており、テラスでのお茶や外気浴で気分転換を図っている。家族との外出は他科受診時の同行のみである。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出支援を計画し、地域のスーパーに買い物に行く事が出来るよう支援する体制が整っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話を希望された時には、居室や職員室等 静かな空間で安心して会話が出来るよう配慮している。便りの葉書にコメントを書かれたり塗り絵が出来るようにし、日々の生活が分かるように写真も添え送っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂や居間の共同空間の壁に貼ってある写真や季節感を取り入れた作品を掲示している。適宜、換気をしながら室温に配慮している。又、テラスにはベンチを置き、いつでも外気浴を楽しめるよう工夫している。	リビングは季節の飾り付けをして、四季を感じてもらえるように工夫している。換気を十分行い、加湿器やエアコンで過ごしやすい室内環境に調節されている。利用者が室内や外のテラス等の好みの場所で自由にくつろげるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間には、自由に座っていただく空間を作り、スタッフと共に過ごす時間を設け、利用者同士の交流も図れるように配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人馴染みの物を取り入れている。本人が気に入った絵や、家族が持参された写真等を貼り心地良く過ごせるように工夫している。	居室には、ベッドや衣装ケース、エアコンがあり、寝具はリースである。居室の窓を少し開けて換気をしている。本人はハンガーラックを置いたり、写真や色紙を飾って落ち着いて過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は、安心して移動出来るようにバリアフリーとなっている。居室入口には、目印に本人の写真を貼り、安心して居室に入れるようにしている。建物は安全に自立した生活が送れるように工夫してある。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない